

愛知県教育委員会教育長 様

2018年9月20日

通学かばん・用具の重さの、軽減、配慮を求める、請願。

請願人

住所

氏名

宮崎邦彦

1

請願の経過趣旨

- ① ランドセルは男女別にしないで（資料1 2018年4月5日朝日新聞）  
「学校生活もより楽しくなるでしょう」ということが記載されている。  
重すぎるかばんランドセルは、学校が楽しくなくなる要因になるということ（も）である
- ② 通学かばん負担軽減へPT（資料2 2018年6月23日中日新聞）市教委は、調査等始めているということである。市長、PTを立ち上げる方針ということである。  
ある程度の見通しはあるが、児童生徒の、年齢等、学校の安全配慮の視点に立った対応を求めるために請願に至る。
- ③ 広がる「置き勉」名古屋は各校独自ルール（資料3 2018年5月27朝日新聞）  
名古屋市は各校独自の置き勉のルールがあるという。ことである。  
独自ということ、逆に苦勞していることも考えられる。安全配慮等の視点を持っているかどうかを確認が必要である。
- ④ ランドセル重くない？（資料4 2018年5月28日朝日新聞）何が大切か考え選択ということである。「同調圧力」にならないようにということである。
- ⑤ ランドセルが重い！広がる“置き勉”とは？（資料5-1 YAHOO!ニュース）  
「小学1年の場合、体重の15パーセント以下（用具の重さ）」専門家の言、であるから、参考にされる数値であるといえる。
- ⑥ 「児童の健康がすべてに優先される」（資料5-2 YAHOO ニュース）  
この表題にあることを、もとに学習計画実行がなされるべきであるということである。
- ⑦ 通学カバンが15kg超（資料5-3 YAHOO ニュース）  
15kgは、自転車通学者にとっては、転んだ、危険ということである。
- ⑧ 重すぎるランドセルは、身体への影響、さらに児童の動きを鈍くすることも考えられる。突然の災害に遭遇した時を考えると、軽やかであることが、求められる。
- ⑨ 児童生徒の携行品に係る配慮について、出る。

2

請願事項

- ① 通学かばん・ランドセル（用具の重さ）について、年齢と、重さの関係、及び身体への影響を明確にして学校職員に知らせる事。（身体、健康に及ぼす影響



を、明確にして知らせるということである)

- ② 通学かばん・ランドセル(用具の重さ)は通学時に、重すぎると、児童生徒に対する、災害、人的被害等、危険等の可能性を考察して明らかにする事。
- ③ 各学校は、毎日の授業における、用具の重さについて確認して、重すぎる時は配慮する事。(各学校には置き勉等の対応もあることを知らせておくこと)
- ④ 学校には、児童生徒に対して、安全配慮義務があることを再確認(重すぎる通学かばん・ランドセルもふくむ)しておくこと。

添付資料 資料1～5-1, 2, 3